

# 5 東北地域（国府・中海）

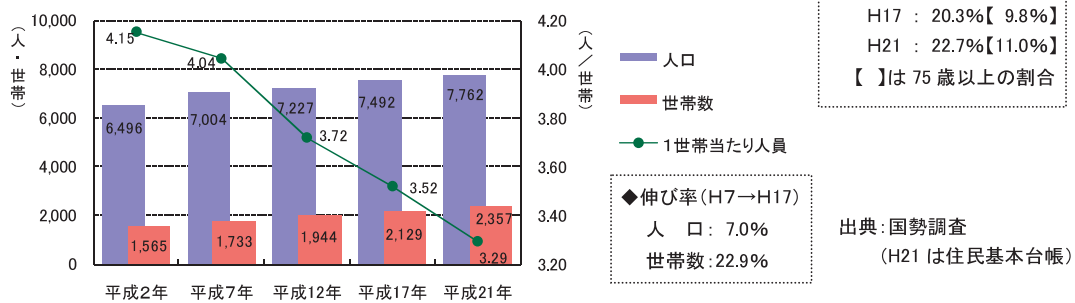
## 1. 地域の現況

- ・本地域は、国府校下、中海校下からなり、本市の東北部に位置し、能美市と接している。地域の西側に梯川が流れ、また地域東部、南部には丘陵地が広がり、豊かな自然環境に恵まれている。
- ・地域のほぼ中央を加賀産業開発道路が通過しており、道路沿いの丘陵部に東部産業振興団地が立地している。
- ・近年は、八里台地区において、宅地開発が進められており、（都）小松インター八里線の整備も相まって、開発行為が進展している。
- ・地域内はほとんどが市街化調整区域であり、わずかに住居系と工業系の用途が存する。
- ・平成17年現在の人口は7,492人であり、国府校下は増加、中海校下は微増傾向にある。また、世帯数は2,129世帯で増加傾向にある。

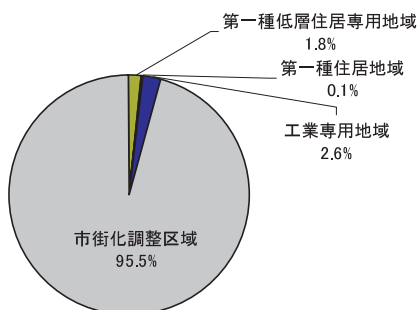


●基礎データ		都市計画区域内に占める割合	都市計画区域内の平均	備考
面積 (ha)	1,839	15.1%		都市計画基礎調査値
人口 (人)	7,492	7.2%		H17国勢調査値
世帯数 (世帯)	2,129	6.2%		"
人口密度 (人/ha)	4.07		11.19	
平均世帯員数 (人/世帯)	3.52		3.02	
高齢化率 (%)	19.9 【10.3】		19.8 【9.4】	H17国勢調査値
【 】は75歳以上の割合 (%)	21.7 【10.8】		21.9 【10.7】	住民基本台帳(H21.4.1)

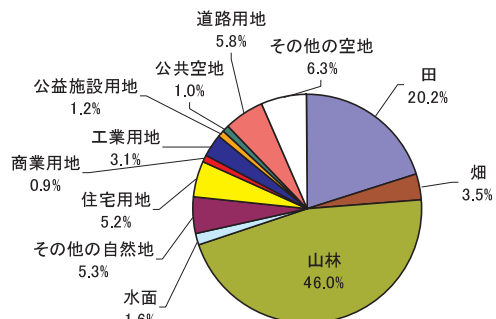
### ●人口・世帯数の推移



### ●区域区分・用途地域

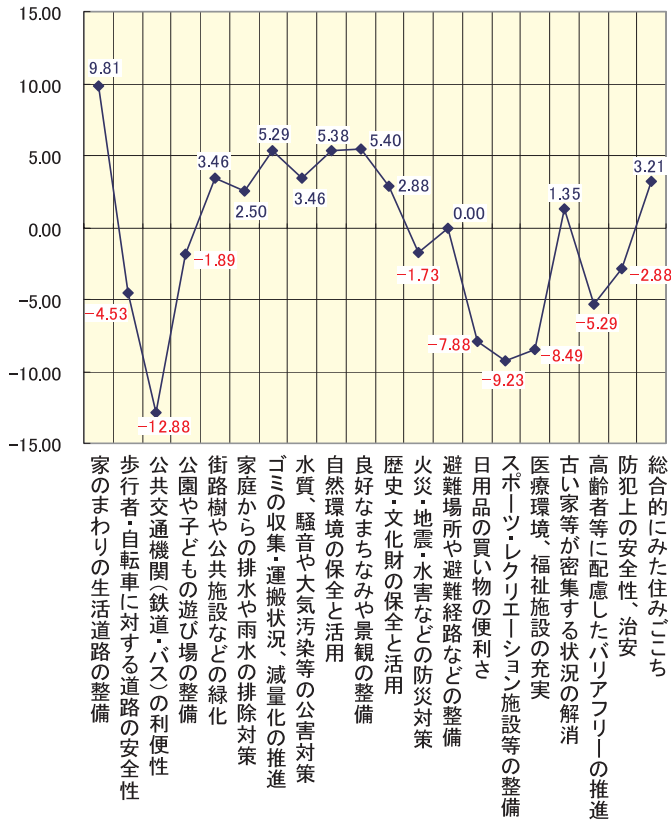


### ●土地利用現況

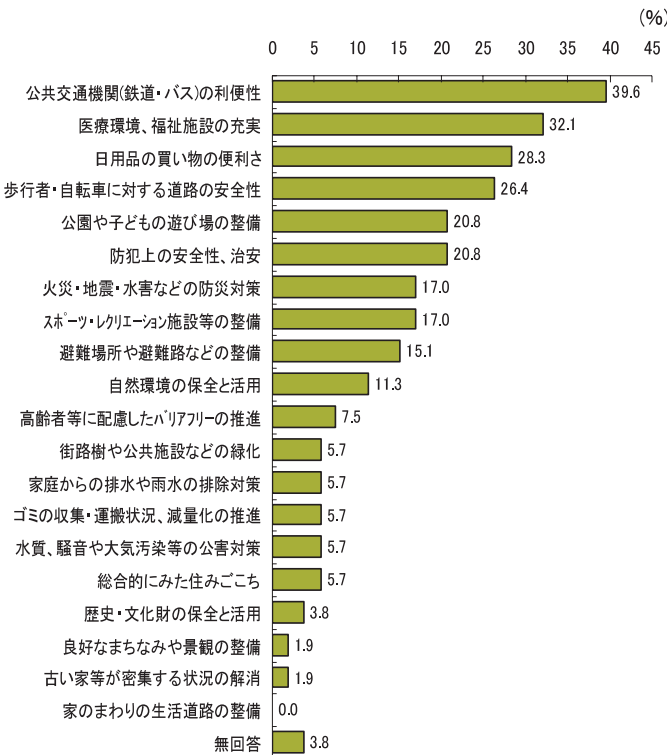


## 2. 住民意向調査結果

### ●生活環境の満足度



### ●さらに住みよくなるために重要なこと



### ●具体的なまちづくりの方策について

#### ◆道路交通網の整備について重要だと思うこと

歩道の整備や安全な通学路の確保

#### ◆公園・広場の整備について重要だと思うこと

子どもや高齢者等が利用しやすい身近な公園や広場の整備

#### ◆まちなみ景観について重要だと思うこと

山並み・河川などの自然や田園景観の保全

#### ◆防災対策について重要だと思うこと

災害時の避難場所や備蓄倉庫などの整備

#### ◆環境対策について重要だと思うこと

ゴミの減量化など、リサイクルの推進

#### ◆市街地の整備について重要だと思うこと

商店街の活性化や便利で利用しやすい商業地づくり

#### ◆JR小松駅周辺の整備や取り組みについて重要だと思うこと

駅周辺の商業機能の強化や商店街の魅力向上

#### ◆まちづくりにおける市民の役割について

自分の住んでいるまちや地域に関心を持つこと

#### ●若者が小松市に住み続けるために必要なこと(中学生の回答)

若者が働きたくなる企業・職場があること

#### ●小松市で自慢できるもの(中学生の回答)

自然が豊かで、緑が多いこと

### 3 . 地域の特性と課題

#### 〔特性〕

- ・本地域は、河川と東部丘陵地間に広がる田園環境の中に、農村集落地と新興住宅地（国府台、八里台）が点在している。
- ・地域内には仏御前の里、岩倉城跡や多くの遺跡群が点在する。

#### 〔課題〕

- ・既存集落地において、下水道や生活道路、身近な公園・広場等の整備を推進し、居住環境並びに防災性の向上を図るとともに既存集落の維持に努める必要がある。
- ・新たに整備された八里台、国府台等の住宅地については、今後も良好な居住環境の維持・保全に努める必要がある。
- ・東部産業振興団地の機能充実を図るとともに、公害の防止や工場緑化の推進等により、周辺環境と調和した良好な工業地環境の形成を図る必要がある。
- ・安全な道路環境の創出や周辺の自然環境と調和した良好な道路景観の形成を図る必要がある。
- ・梯川、鍋谷川、滓上川、仏大寺川等の水辺や東部丘陵の緑、田園空間の維持・保全を図るとともに、親水整備や眺望環境等の整備を推進し、身近な自然とのふれあい空間の創出や良好な景観形成を図る必要がある。
- ・地域内に点在する歴史・文化資源の保全を図るとともに、地域の魅力づくり等への有効活用を検討する必要がある。

## 4 . 地域のまちづくりの方針

### 4-1 . まちづくりの目標と基本的な考え方

〔まちづくりの目標〕

田園と新市街地を結び、河川や丘陵地の自然と  
ふれあい豊かに暮らせるまち

〔基本的な考え方〕

本地域は、梯川等の河川と丘陵地との間に田園の緑が広がる豊かな自然環境とゆとりある居住環境を有している。今後もこうした自然環境と調和したうらおいのある居住環境の維持・保全に努めるとともに、集落間並びに八里台、国府台等の新市街地とのネットワーク機能の強化により、利便で快適に暮らせる地域づくりを図る。

また、活力ある産業振興のため、東部産業振興団地において、周辺環境との調和に配慮し機能充実を図る。

さらに、地域内に点在する歴史・文化資源の保全と活用を図り、豊かな自然と歴史文化にふれ、こころ豊かに暮らせる地域環境の形成を図る。

河川や丘陵の自然に包まれたやすらぎのある地域づくり

集落と新市街地をつなぐ地域づくり

地域固有の歴史・文化資源を活用した地域づくり

### 4-2 . 地域整備の方針

(1) 土地利用の方針

国府台や八里台等の計画的に整備された住宅地については、良好な居住環境の維持・保全を図る。

コミュニティ単位で人口が減少している地区では、既存集落周辺において、周辺環境との調和を図りつつ、地区計画の活用や開発許可等の諸制度の適切な運用により、一定割合の宅地化を進めることとする。この際、優良農地との整合に十分配慮し、必要に応じて都市基盤の整備を行うものとする。

日用品販売店舗等については、地域住民の利便性に配慮し、ある程度の規模までは確保を目指す。商業機能の集積は行わない。



国府台

東部産業振興団地において、周辺環境に配慮しつつ、工業団地としての機能充実を図る。  
地域内の優良農地の保全を図る。



東部産業振興団地

## (2) 交通施設整備の方針

(主) 小松辰口線については、能美市辰口地区から鷓川町までが供用開始されており、未整備区間についても早期完成を目指す。

国府台や八里台と点在する集落間を有機的に連携するため、基盤整備を推進し、ネットワーク形成を図る。



(主) 小松辰口線

## (3) 公園・緑地整備の方針

遊泉寺銅山跡周辺においては、教育・レクリエーション活動の場としての活用を検討する。

平成の名水百選に選ばれた桜生水周辺の環境保全を図る。

埴田徳橋神社の森(市文化財)は、集落内の貴重な緑地として保全する。



桜生水



埴田徳橋神社の森

(4) その他の施設整備の方針(河川・下水道等)

梯川の河川改修を促進するとともに、親水空間の整備を図る。(梯川沿川地域共通)

鍋谷川、仏大寺川、金山谷川、滓上川沿川においては、水辺環境の保全を図る。

下水道については、順次整備を進めており、今後は効果的な財源活用等を図るため、効率的な汚水処理を検討しながら未整備区域の整備を推進し、良好な居住環境を図る。また、下水道の接続向上については、戸別訪問、PR活動や普及促進サポーターとの協働により、一層の普及促進を図る。

埴田徳橋神社の森、仏御前の里、岩倉城跡など、地域の歴史・文化資源の保全を図るとともに、有効活用を検討する。

(5) 自然環境保全及び都市環境形成の方針

地域内に広がる緑豊かな農地や丘陵地は、環境、景観上の資源としても貴重な空間であり、保全に努める。

鍋谷川、仏大寺川、金山谷川、滓上川等の水辺において、水質汚濁の防止、水質浄化等に努め、生きものの生息に適した水辺環境の創出を図る。

東部産業振興団地周辺においては、騒音や振動、悪臭等の公害発生を未然に防止し、良好な工業地環境の形成を図る。

(6) 都市景観形成の方針

埴田徳橋神社の森等の集落内の緑を保全し、田園集落景観の保全・継承を図る。

加賀産業開発道路沿線において、建築物や屋外広告物の規制・誘導などにより、田園や丘陵地の緑に調和した良好な沿道景観の創出を図る。(中東地域と共通)

(都)小松インター八里線沿道は、のどかな田園風景に包まれており、屋外広告物の規制等により、良好な沿道景観の形成を進める。



加賀産業開発道路

(7) 都市防災の方針

安全な避難場所や避難路の確保をはじめ、狭隘道路の改善やポケットスペースの確保、公共建築物や災害時の避難場所等となる施設の耐震化を促進する。

